北の大地でアジアのアスリートが熱戦

～札幌で5競技10種別 帯広でスピードスケートを実施～

スケート競技

●スピードスケート＝帯広の森屋内スピードスケート場

トップスピードでタイムを競う男女の距離別の個人と勝ち抜き方式のチームパシュートなど14種目のレースが行われる。ここのところオリンピックや国際大会で韓国や中国選手の活躍が目立つが、日本選手も非常に好調で、好記録やメダルを目指した白熱のレースが楽しみだ。

会場となる帯広市のリンクは、2009年の長野に次いで国内2カ所目の屋内スピードスケート場として開設され、これまで多くの国際大会が開催されている。

●ショートトラック＝真駒内公園屋内競技場

1周111・12㍍の短い距離のリンクを左回りに滑走し、勝ち抜き方式で順位を争う競技で男女の個人とリレー団体の5種目が行われる。タイムではなく着順で勝敗を決めることから氷上の競輪と例えられる通り、目の離せないレースが展開される。

●フィギュア＝真駒内公園屋内競技場

札幌オリンピックの会場となったアイスアリーナを舞台に男女シングルと男女ペアーのフリー、アイスダンスの3種目が行われる。

参加は男子12カ国、女子16カ国と多く、ソチオリンピックで活躍した日本選手や韓国、中国選手の演技に注目だ。

カーリング競技

●カーリング競技＝札幌カーリング場

40㍍先のハウスを目がけてストーンを投げ入れ、得点を競い合う競技で、男女のチーム戦が行われる。氷上のチェスとも言われるとおり、いかに冷静に氷の状態を読み、狙ったコースにストーンを滑らせていくかがポイント。

世界選手権で実績のある中国のプレイや平昌オリンピックの出場権を目指す日本チームの活躍に期待したい。

また、西アジア地域からカタールが初出場する。

バイアスロン競技

●バイアスロン競技＝西岡バイアスロン競技場

クロスカントリースキーとライフル射撃を組み合わせた複合競技で男女の個人、団体と男女ミックスの団体が行われる。クロスカントリーで全力滑走した後にいかに息を整えて射撃できるか、射撃の精度がキーとなる。伝統的に中央アジア勢が強いが、ここのところ東アジア諸国も走力をつけてきており、注目したい。

アイスホッケー競技

●アイスホッケー競技＝月寒体育館、美香保体育館、星置スケート場

パックを取り合って激しくぶつかり合う場面が多く、氷上の格闘技とも言われる競技で、カザフスタンなど中央アジア地域に強豪チームが多い。

参加は男子が20カ国と多く、氷上での巧みなスティックさばきと力の込もった白熱の試合展開が見ものだ。

開会式・閉会式

●開会式＝札幌ドーム、閉会式＝真駒内屋内競技場

2月19日、16時から4万人収容の札幌ドームで趣向を凝らした開会式が行われ、大会最終日の2月26日18時からは、フィギュアスケート競技などが行われた真駒内公園屋内競技場で閉会式が行われる。

開会式では、選手の入場行進や札幌市内をリレーした聖火の到着などのセレモニーが行われた後、人気グループ・ドリームズ・カム・トゥルーのスペシャルライブで大会の開幕をにぎやかに盛り上げる。

閉会式は、フィギュアスケート競技の入賞者による華やかなエキシビションを組み込んで行われる。

大会PRアンバサダーの2人から

清水さん（左）と浅田さん

大会のPRアンバサダーを務めているのが、長野オリンピック金メダリストの清水宏保さんと、フィギュアスケート界で活躍された浅田舞さんのお2人。さまざまな場で大会の開催をPRし、各競技の観戦をと呼び掛けている。

大会100日前の11月13日には、札幌市内のスケート場で子供たちにスケートを指導し、市中心街の地下歩行空間でのイベントでトークショーも行うなど、大会ムードの盛り上げに向けて、活動されている。

＜お2人から大会への一言＞

●清水宏保さん

「来年の平昌オリンピックにつながる大事な大会で、アジアのトップアスリートによる白熱のレースが展開される。競技は生で見ると迫力が違うので、ぜひ、多くの皆さんに観戦していただきたい」

「大会を通じて、アジアの皆さんに世界一の雪質の北海道、ウインタースポーツに最適な環境の北海道を知ってもらい、アジア各国から冬の観光やレジャー客の拡大につながっていくといいですね」

●浅田舞さん

「大会は選手やスタッフだけでなく、地元の関係者や観客などみんなで作り上げていくものなので、皆さんの熱い声援で大会を盛り上げてほしい」

「冬季競技を会場で見ることは余りなかったかと思うが、会場で間近に見ると感動が全然違う。あらためてウインタースポーツへの取り組みが拡がる機会にしたいですね」

大会への期待

＜観光や各種交流の促進に＞

大会の開催は、アジア地域の冬季スポーツの発展はもとより、スポーツを通じてアジア諸国とのさまざまな交流や、観光、文化、経済の活性化にも多くの効果が期待されている。

日本政策投資銀行北海道支店では、大会開催による経済波及効果の試算を行っており、それによると、国内外から選手・役員2300人と観客ら10万人が訪れると推計し、開催経費の約2倍となる129億円の効果があるとしている。

加えて、短期的な経済効果のみならず、札幌市の冬季オリンピック誘致を目指す活動の後押しとなることや、今後の国際スポーツ大会の誘致、インバウンド観光客の増加といった中長期的な目標にも寄与するところが大きいとしている。

また、2020年に外国人観光客500万人の実現を目指す道においても、「大会の開催は、アジア諸国の人たちに冬の北海道を知ってもらう絶好の機会であり、アジア地域からの観光誘致の弾みになる」と期待している。

特に北海道の観光入り込み数は、夏と冬との季節差が大きく、冬の観光の底上げが課題である。道では札幌、帯広両市と連携しながら、大会と北海道観光のPRや来道する観客への対応に力を注いでいる。

心を込めた準備と歓迎を

＜札幌、帯広両市の取り組み＞

スピードスケートを除く全競技を実施する札幌市では、大会組織委員会による競技会場や選手ホテルの準備と同時に、道と連携しながら選手団や国内外からの観客の歓迎に向けた準備が着々と進められている。

新千歳空港をはじめJR札幌駅、地下鉄の主要駅にインフォメーションセンターや案内デスクを設置することや、市中心街の地下歩行空間に市民との交流の場を設置することも行う。

スピードスケート競技を実施する帯広市では、商工会議所が中心になって「冬季アジア大会を応援する会」がつくられ、市内に大会小旗の飾りつけや氷祭り会場でのPR活動の実施など、大会ムードの盛り上げに力を入れている。

市も、これまで多くの国際大会を開催してきた経験を生かし、「選手がベストを尽くせるよう、万全の体制で選手団を迎えたい」「帯広の子供たちは、小さい時からスケートに親しんできているので、大会を楽しみにしている」と、心を込めた準備を進めている。また、バスを手配し、市内の全小学生を競技会場に招待することも行う。

＜大会組織委員会では＞

大会の開幕まで1カ月にと迫り、作業準備に追われる毎日だが、「大会の成功はもちろん、大会を通じて北海道の魅力を感じていただけるよう、最高の大会運営と心を込めた対応で選手団や関係者をお迎えしたい」と、全力投球中だ。

同委員会の生島典明専務理事も、大会の開催は「アジア地域の冬季スポーツの発展と冬季スポーツに親しむ機会の拡大が目的だが、同時にアジアの皆さんに北海道の良さを知ってもらうとともに、私たちもアジア諸国がさまざまな分野で大きく発展し、変化していることを学び、これからのアジアとの関係を考える機会にしなければならない」と、話す。

開催まで1カ月となった冬季アジア大会。アジア新時代への期待を乗せて間もなく始まる。

大会公式マスコットキャラクター

冬季アジア大会の開催都市

開催年	開催都市	実施競技	参加国・地域、選手・役員
第1回 1986年	札幌（日本）	4競技（7種別）	7カ国・地域　430人
第2回 1990年	札幌（日本）	4競技（6種別）	10カ国・地域　441人
第3回 1996年	ハルビン（中国）	4競技（8種別）	17カ国・地域　702人
第4回 1999年	カンウオン（韓国）	4競技（7種別）	21カ国・地域　798人
第5回 2003年	青森（日本）	5競技（11種別）	29カ国・地域　1,016人
第6回 2007年	長春（中国）	5競技（10種別）	26カ国・地域　1,101人
第7回 2011年	アスタナ・アルマトイ（カザフスタン）	5競技（11種別）	26カ国・地域　786人（選手のみ）

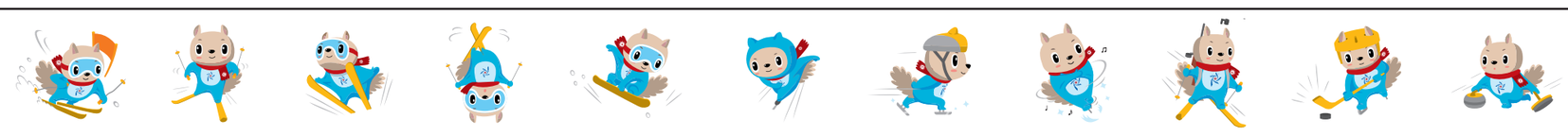
開催都市の紹介

●札幌市

北海道の政治、経済、文化の中心地であり、明治の開拓期から道都として発展。1972年には冬季オリンピックが開催され、札幌雪まつりなど冬のイベントも多く、観光都市として世界的な知名度が高い。人口は約200万人。

●帯広市

北海道東部の農業・酪農業を主産業とする十勝地方の中央に位置する拠点都市。早くから農・畜産物の集積地として栄え、商業都市として発展してきており、道都札幌から鉄路で2時間半の距離にある。人口は約17万人。



2017 SAPPORO ASIAN WINTER GAMES

2017 冬季アジア札幌大会

2017年2月19日(日)～26日(日) 開催！

開催地　北海道　札幌市、帯広市

開催競技・種別　5競技11種別
●スキー（アルペン／クロスカントリー／ジャンプ／フリースタイル／スノーボード）
●スケート（スピードスケート／ショートトラック／フィギュアスケート）
●バイアスロン　●アイスホッケー　●カーリング

大会概要、競技日程等は大会公式ホームページをご確認ください。
2017　冬季アジア　検索

チケット好評発売中　オフィシャルチケット販売サイト　http://sapporo2017.org/ticket

第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会／札幌市 TEL：011-242-2017　http://sapporo2017.org
8th Sapporo Asian Winter Games Organising Committee / City of Sapporo